

タイトル『小説の神様』

著者：相沢沙呼 出版社：タイガ

「僕は小説の主人公になり得ない人間だ。」
学生で小説家デビューを志した千谷一也。
しかし小説家デビューしたものの
自分の小説が全く売れず悔しい日々をみく
ていた。ある日一也を担当している編集者の
人から、同年の人気作家・小糸綾詩風との
合作小説の話がもたらされた。断ったものの
編集者エムの強い意志により組むことになった
二人。

その後の二人の糸口は、
読みた方はぜひ読んで
みて下さい！



投稿日 年 月 日

ペンネーム (本名は書かないでね！)

Ne

年齢

14

仙台市 市民 図書館 YAコーナー